

西濃農林事務所の普及活動状況

平成30年9月30日現在

今月の重点活動

■西濃就農応援隊 新規就農者意見交換会を開催～You' ll never walk alone～

西濃地域の市町、農業関係団体、自治会、商工会、観光協会、金融機関等で構成される西濃就農応援隊は9月21日、海津市役所において新規就農者意見交換会を開催し、県就農支援センター修了生を中心に、新規就農者18名をはじめとする75名が出席した。

新規就農者4人によるパネルトークでは、就農後の経営状況や課題、関係機関に期待すること、これから農業を目指す人へのメッセージなどが発表され、出席者との意見交換も行われた。その中で、目標収穫量を達成するための方法、気象災害及び停電といった突発的な事案に対する備えなどについて、真剣な議論がなされた。また、担い手リーダー（指導農業士、青年農業士、女性農業経営アドバイザー）からの活動紹介や応援メッセージの報告もなされた。

農業普及課は、新規就農者との日程調整や参加呼びかけ、関係機関との情報共有や意見交換会の企画・運営等を行った。



【パネルトークの様子】

多様な担い手づくり

■指導農業士会西南濃支部 農業大学校学生派遣学習受け入れ

安八町の指導農業士は9月3日～8日、地元出身の農業大学校1年生2名の派遣学習の受け入れを行った。主にミニトマトの栽培管理、収穫、出荷調製等の実習や養液栽培システムの管理方法に関する説明など、幅広い指導が学生に行われた。

農業普及課は農業大学校と連携し、派遣学習に当たっての調整及び学習状況の確認を行った。



【農大生派遣学習状況】

売れるブランドづくり

■水稲 JAにしみの水稲現地検討会<全域>

JAにしみの営農連絡協議会（水田担い手の組織）とJAにしみのは、9月7日に養老町現地等において水稲現地検討会を開催した。西濃管内の水田の担い手が集まり、関係者を合わせると100名を超える行事となった。

現地検討会では注目品種「ほしじるし」、密苗疎植栽培「あさひの夢」のほ場、ドローンによる防除実演、水稲育苗ハウスでの野菜袋栽培による施設有効利用、自動運転トラクターの作業デモンストレーションを研修した。

農業普及課からは平成30年産水稲の生育経過を説明し、出穂後防除、適期刈取り等中生晩生品種の後半の管理を指導した。



【水稲育苗ハウスの有効活用（なす袋栽培）】

■加工・業務用キャベツ 各地域で定植が行われる

加工・業務用キャベツの定植が8月末から始まり、9月中旬で終了した。雨間を見ての定植であったためほ場条件は良くなかったが、排水対策の徹底がなされていたほ場では確

実な定植が行われた。台風 21 号の影響があったものの、病害虫防除等、適切な事後対策を実施したため現在は順調に生育している。

農業普及課は随時巡回を実施し、今後必要となってくると思われる病害虫の防除等の指導を実施する予定である。



【キャベツの定植】

■ナバナ 播種作業の省力化を支援

海津ナバナ部会では 8 月末から苗の播種、9 月中旬から直播が行われている。地域ではセルトレイ、地床による育苗が主体であるが、省力化のためシーダーテープを用いた直播栽培が一部で導入されている。直播栽培は残暑、降雨の影響を受けやすく、根こぶ病も発生しやすいため計画的なほ場づくり、高温対策、排水対策、適期播種が重要となる。

農業普及課では作業分散、軽労化モデルとして直播栽培の面積割合 50%とした栽培を提案している。2 箇所では実証展示を行い、シーダーテープ播種機の効率的な活用や発芽率の向上、その後の栽培管理について支援を行った。今後も、協業化による労力補完の取り組み提案とあわせて取り組んでいく。



【直播研修会 風景】

■神戸町下宮青果部会協議会 土壌診断研修会の開催

9 月 27 日、JAにしみの神戸集出荷センターにおいて、第 1 回土壌診断研修会が開催された。下宮青果部会協議会では、今まで産地として定期的な土壌診断が行われておらず、生育障害について原因がしぼれない場合が多かった。そのため、肥料メーカー、JA、全農ぎふ、農林事務所の 4 者で協議をすすめ、今回、36 名（ほ場）の肥料メーカーによる土壌診断結果をもとに、研修会を開催した。

肥料メーカーからは土壌診断結果の見方、対策資材の紹介が行われ、農業普及課からは産地の傾向と対策、土壌診断結果に基づいた他産地の取り組み事例紹介を行った。また、研修会終了後は相談コーナーを設け、関係機関で質疑対応を行った。今後、土壌診断未提出者、分析結果を踏まえて対策を行ったほ場等を中心に第 2 回土壌診断を行い、施肥改善をすすめていく予定である。



【緑肥による塩類濃度低下】

住みよい農村づくり

■フラワー・ブラボー・コンクール（FBC） 地方審査が実施される

9 月 14 日、フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）の西濃地区地方審査が実施された。参加校は、揖斐川町立小島小学校、海津市立海西小学校、養老町立池辺小学校、大垣市立時小学校の 4 校であった。今年は、猛暑や長雨・台風の影響で管理が大変な年だったが、子供たちが取り組んできた経過の説明を受け、花壇審査が厳正に行われた。上位 2 校は、中央審査に推薦される予定である。

農業普及課は、審査員・参加小学校との連絡調整、結果の報告を行った。



【FBC 地方審査】